

県庁の温室効果ガス排出量の状況（令和 5 年度）

令和 6 年 12 月
環 境 森 林 課

1 温室効果ガス排出の状況

- 令和 5 年度の温室効果ガス排出量は 51,398 t-CO₂ でした。
- 前年度比で 14.7%の増加、平成 25 年度(基準年)比では 33.8%の減少となりました。
- 前年度から排出量が増加した理由としては、温室効果ガスの排出に大きく起因している電気の使用について、電力会社の排出係数が前年度より高くなったためと考えられます。
- 現在の第 5 期宮崎県庁地球温暖化対策実行計画では、令和 7（2025）年度までに温室効果ガス排出量を平成 25 年度比で 42.9%削減することを目標としており、より一層のエネルギー使用量の削減に取り組んでまいります。

図 1. 温室効果ガス排出量の推移

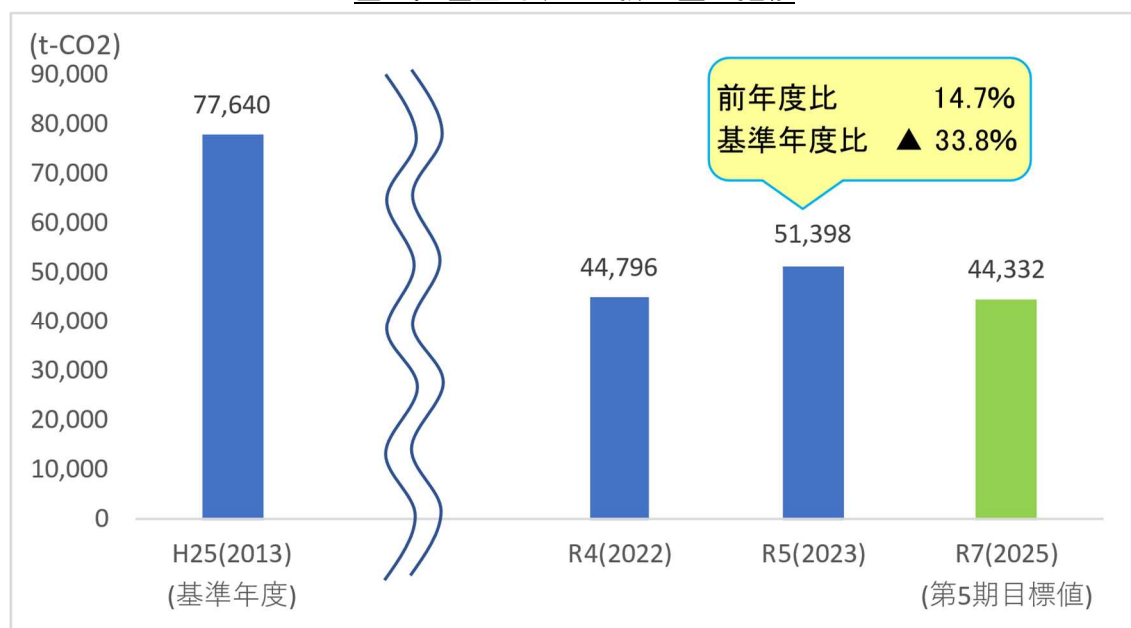
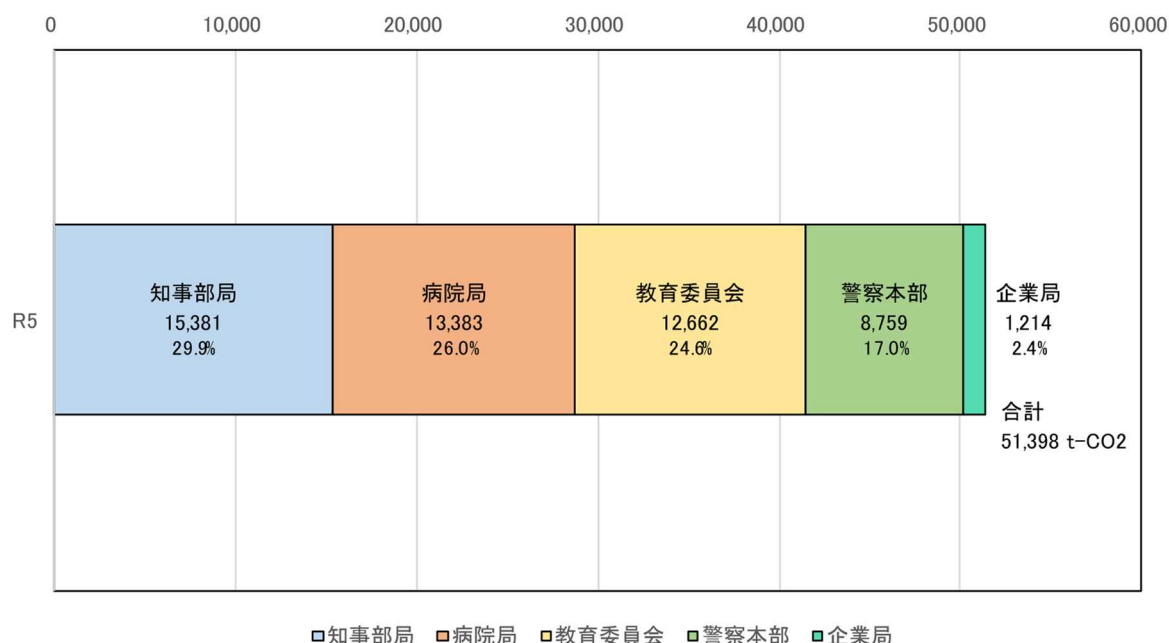


表 1. 県庁の温室効果ガス排出量

	H25	R4	R5	R7(第5期目標)
排出量(t-CO2)	77,640	44,796	51,398	44,332
平成25年度比(%)	－	△ 42.3	△ 33.8	△ 42.9
前年度比(%)	－	－	+14.7	

2 部局別の温室効果ガス排出量及び割合（令和5年度）

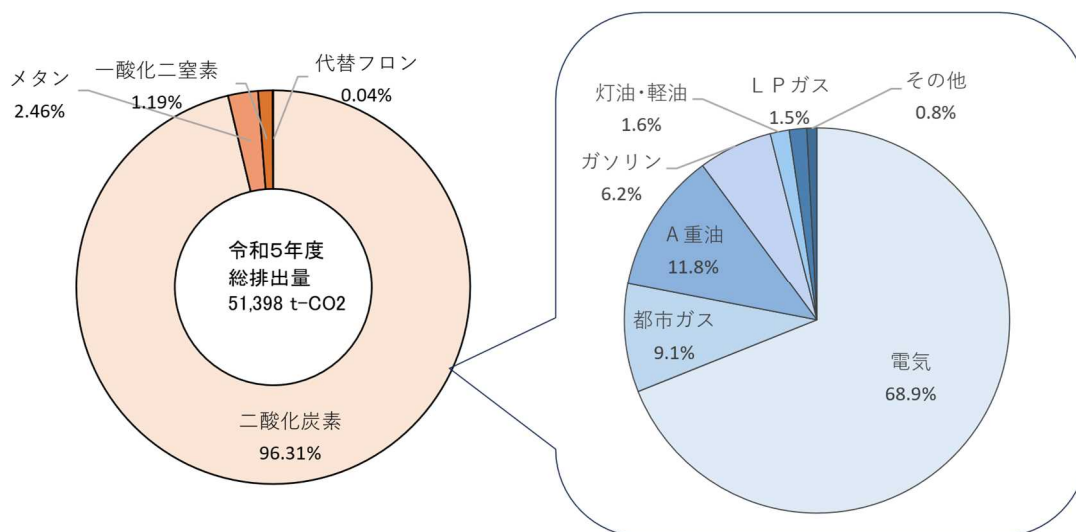
図2. 部局別の温室効果ガス排出量



3 温室効果ガス別内訳と二酸化炭素の燃料別内訳

- 温室効果ガス排出量のうち、二酸化炭素が全体の約 96%を占めています。
- 二酸化炭素排出量のうち、約 70%が電気の使用に起因しています。

図3. 温室効果ガス別内訳(左)、二酸化炭素の燃料別内訳(右)



4 二酸化炭素排出量の推移

- 主な燃料に由来する令和5年度の排出量を前年度と比較すると、都市ガスとガソリンは減少したものの、A重油と電気は増加しました。
- 令和5年度の電気使用量は前年度比で減少しているため、排出量の増加については電気会社等の排出係数の上昇によるものと考えられます。

表2. 二酸化炭素排出量と増減率

	排出量(t-CO2)			増減	
	H25(基準)	R4	R5	H25比	前年度比
電 気	55,722	25,798	34,130	-38.8%	32.3%
都市ガス	6,832	6,343	4,499	-34.1%	-29.1%
A 重 油	7,737	5,726	5,864	-24.2%	2.4%
ガソリン	4,115	3,253	3,073	-25.3%	-5.5%
LP ガ ス	422	736	727	72.3%	-1.3%
灯 油	740	481	456	-38.3%	-5.0%
ジェット	0	461	419		-9.1%
軽 油	618	295	331	-46.4%	12.2%
計	76,186	43,092	49,500	-35.0%	14.9%

図4. 燃料別上位4種に由来する排出量の推移

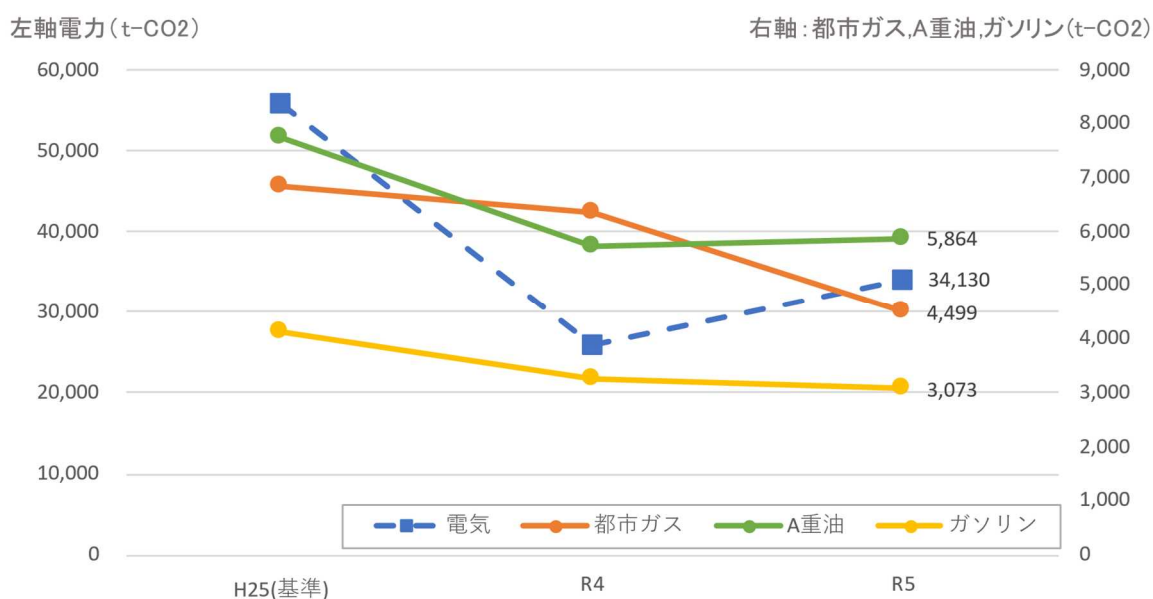


図5. 電力使用量の推移

